

事業概要説明書 [1]			事業番号	2-7				
事務事業名	動物管理事業	担当部名	健康管理部					
事業開始年度	平成 10 年度	担当課名	保健衛生課					
実施方法	直営	担当係	動物管理係					
根拠法令等	狂犬病予防法・宮崎県犬取締条例							
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	狂犬病予防法、宮崎県犬取締条例に基づき、狂犬病の発生を防ぐとともに、市民と動物が快適に共存共生できる環境を構築する。						
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何を するのか 〕	対象 犬の所有者 手段 ①犬の登録および狂犬病予防注射の接種を推進する。 ②放れている犬を保護または捕獲し、抑留する。						
	事業の必要性	国際化が進む中で、国内での狂犬病の発生が危惧されており、法令等に基づき、今後継続して実施していくことが必要な事業である。						
コスト		平成23年度(予算)		人件費				
	直接事業費 (A)	11,520	千円	←	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
	人件費 (B)	30,100	千円		正規職員	22,500	千円	3 人
	総事業費 (A+B)	41,620	千円		嘱託員	7,600	千円	4 人
平成23年度 直接事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃金 737 ・ 旅費 208 ・ 需用費 2,811 ・ 役務費 504 ・ 委託料 5,023 ・ 使用料 123 ・ 負担金 2,114 							

事業概要説明書 [2]		事業番号	2-7		
年度		平成22年度(決算)	平成23年度(予算)		
直接事業費		11,017 千円	11,520 千円		
財源	一般財源	0 千円	0 千円		
	受益者負担金	11,017 千円	11,520 千円		
	その他	千円	千円		
成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕	狂犬病の発生を防止する。				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている			
	[説明]	犬の狂犬病予防注射を推進し、狂犬病の発生を防止できている。			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段:指標の説明)	単位	数値 (上段:目標 / 下段:実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	狂犬病発生件数	件	0	0	0
	宮崎市における狂犬病の発生件数		0	0	
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>狂犬病は世界各国をはじめ、アジア諸国でも発生しており、国際間の物流が進む中で危機管理の上からも狂犬病予防法に基づく注射の徹底が求められていることから、飼い主に対する啓発を行い、かつ宮崎県獣医師会との協働・連携による予防対策を推進する。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕	<p>【狂犬病について】 狂犬病は、人獣共通の伝染病で、発病した場合の死亡率はほぼ100%の危険なウイルスによる感染症。 (1) 臨床症状 ① 前駆期：発熱、食欲不振、咬傷部位の痛みや搔痒感 ② 急性神経症状期：不安感、恐水および恐風症状、興奮性、麻痺、幻覚、精神錯乱などの神経症状 ③ 昏睡期：昏睡（呼吸障害によりほぼ100%死亡） (2) 治療：発病後の有効な治療法はない。</p>				

動物管理事業補助資料【保健衛生課】

1 動物管理事業の概要

動物管理事業では、狂犬病発生を防止するため、主に次の業務を実施しています。

- ① 犬の登録および狂犬病予防注射の接種を推進する。
- ② 放れている犬を保護または捕獲し、抑留する。

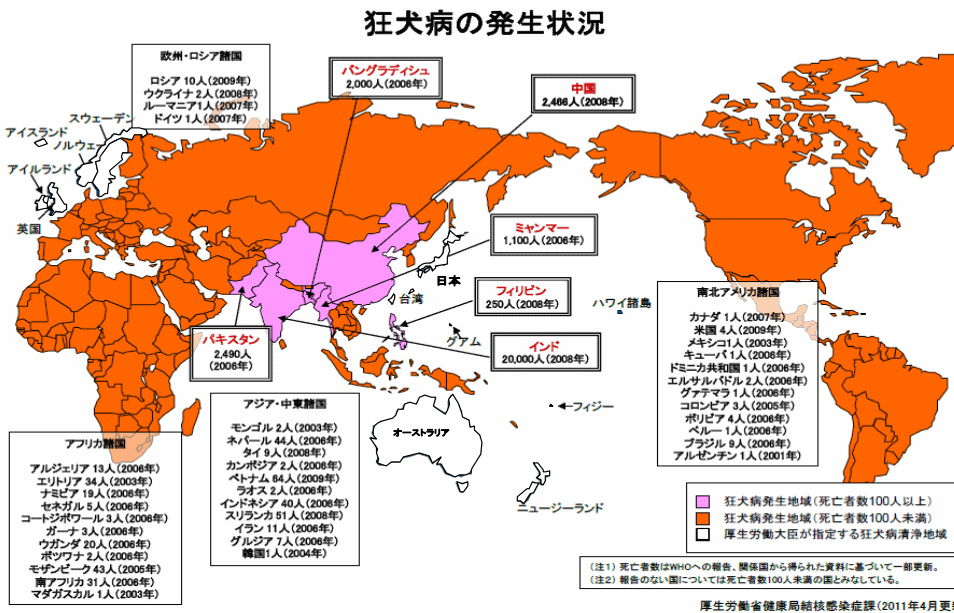
2 狂犬病予防注射の推進

(1) 狂犬病について

狂犬病は、犬や動物だけの病気ではなく、人を含めたすべての哺乳類が感染し、発病すると治療方法がなく悲惨な神経症状を示して、ほぼ100%死亡する極めて危険な人獣共通の感染症です。

WHO の報告では、現在でも、世界では約 55,000 人の発病死があると推定されています。

清浄国は、日本、英国、スカンジナビア半島の国々など一部の地域でしかなく、国際間の物流が進む中で危機管理のうえからも狂犬病予防法に基づく登録および予防注射の推進が求められています。



参考1 狂犬病予防法では

犬の所有者に生涯1回の登録(第4条)、年1回の狂犬病予防注射(第5条)を義務づけています。

(2) 狂犬病予防注射の実施

狂犬病予防注射は、県獣医師会と連携して実施しています。

① 狂犬病予防注射実施の主な流れ

月	内 容	備 考
3月	市広報みやざき3月への折込チラシ	予防接種日程・会場など
	犬の飼養者への個別通知	予防接種日程・会場など
4月～5月	集合注射実施	公民館、保健所、総合支所、地域センターなど
4月～	個別注射	動物病院で個別に注射
7月	未接種犬の飼養者への個別通知	動物病院で個別に注射

② 集合注射の実施状況

年度	実施期間	実施日数	延べ実施会場数
H22	4月8日(木) ~ 5月18日(火)	22日間	295会場

③ 狂犬病予防法にかかる手数料等

(ア) 狂犬病予防注射接種時			(イ) 犬の登録時
3,000円/頭			3,000円/頭
内	注射済票交付手数料	注射手数料(獣医師会または獣医師)	
訳	550円	2,450円	

(3) 犬の登録頭数と予防注射実施頭数

(単位:頭、%)

区分 年度	登録頭数		狂犬病予防注射頭数			注射率
		内 新規登録		内 集合注射	内 個別注射	
H20	18,379	1,563	13,466	4,492	8,974	73.3%
H21	20,383	1,587	14,826	5,101	9,725	72.7%
H22	20,704	1,669	14,723	4,524	10,199	71.1%

2 犬の保護・抑留等

放れている犬や迷い犬を保護、捕獲し、委託により抑留・処分等を実施しています。

- ・抑留場所:宮崎県中央動物保護管理所
- ・抑留委託先:宮崎県公衆衛生センター

① 保護頭数等の推移

(単位:頭、%)

年度	保護・捕獲(A)	返還(B)	返還率(B/A)
18	288	68	23.6%
19	289	99	34.3%
20	325	141	43.4%
21	290	136	46.9%
22	310	149	48.1%

参考2 宮崎県犬取締条例では、飼育者に犬の係留を義務づけ(第3条)、県知事は係留されていない犬を捕獲、抑留させることができる(第8条)と定めています。

(参考3:狂犬病予防注射啓発資料)

私たちは、君を忘れない

- 日本にも狂犬病がまん延していた時代がありました -

1950年、当時4歳の男の子は、
犬に咬まれて狂犬病ウイルスに感染しました。
それから1ヶ月後、
男の子はお母さんに手を握られながら亡くなりました

